道路ＢＯＸ等に関する
調査表記入マニュアル

〔Ｄ０８０〕 道 路 Ｂ Ｏ Ｘ 基 本

この調査表は、道路ＢＯＸ等に関する基本的データを登録するためのものである。なお、ここで取扱う道路ＢＯＸ等とは、管理する道路に対し平行（縦断方向）しているアンダーパス等の箇所などに設けられたボックスカルバート及び門型カルバートを対象とする。

１．一般的注意事項

（１）データは次の単位で作成する。

○　路線毎とする。

○　道路ＢＯＸ箇所毎とする。

（２）道路ＢＯＸ等に関する写真・図面類については「D081道路ＢＯＸ図面類」にて作成する。

（３）道路ＢＯＸ等に関する補修履歴については「D082道路ＢＯＸ補修歴」にて作成する。

（４）道路ＢＯＸ等内の占用物件については「D083道路ＢＯＸ占用物」にて作成する。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

（Ｊ）整理番号３

（Ｎ）補助番号

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｈ）、（Ｉ）、（Ｊ）、（Ｎ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），

§1．共通注意事項」を参照のこと。

（P）名称：◆

該当する道路ＢＯＸ等の名称を、１０文字以内の日本語（漢字、ひらがな、カタカナ、及び英数字）で記入する。名称がない場合は、設置箇所の地先名等を記入する。

（Q）百米標自（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（R）距離自（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（S）百米標至（km）

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（T）距離至（m）

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（W）施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。

（記入例）　昭和６１年　　―――>　　３６１
↑
年号コード（３：昭和）

（X）施設改修年度：◆

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1．共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は‘＊’を記入する。

（記入例）　平成　５年　　―――>　　４０５
↑
年号コード（４：平成）

（Y）完成年月：◆

道路ＢＯＸが完成した年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例）　１９８６年　３月　　―――>　　１９８６０３

（Z）上り下り区分Ｃ：◆

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
上下線共通	0
上　り　線	1
下　り　線	2

(AB) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地（字番地まで）について、３０文字以内の日本語で記入する。

(AC) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地（字番地まで）について、３０文字以内の日本語で記入する。

(AD) 構造形式種別Ｃ：◆

構造形式種別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
一連ボックスカルバート	1
二連ボックスカルバート	2
門形カルバート	3
その他	9

(AF) 工場製品場所打別Ｃ

工場製品、場所打の別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
プレキャスト（工場製品）	1
場所打ち	2
そ の 他	9

(AH) 延長（m）：◆

道路ＢＯＸの延長（構造物の道路中心の縦方向の延長）を、小数点以下１位まで記入する。

(AI) 道路部（m）：◆

道路ＢＯＸの道路部幅員（車道、路肩及び歩道を加えた延長）を、小数以下２位まで記入する。

(AJ) 内空車道幅（m）：◆

（AN）左側車道幅、（AS）右側車道幅をプラスした車道部幅員を、小数点以下２位まで記入す

る。

(AK) 内空歩道等幅（m）

（AL）左側歩道幅、（AU）右側歩道幅をプラスした歩道等幅員を、小数点以下２位まで記入する。

(AL) 左側歩道幅（m）：◆

道路ＢＯＸの起点から見て左側の内空歩道幅員を、小数点以下２位まで記入する。

(AM) 左側路肩幅（m）：◆

道路ＢＯＸの起点から見て左側の内空路肩幅を、小数点以下２位まで記入する。

(AN) 左側車道幅（m）　注1)

道路ＢＯＸの起点から見て左側の内空車道幅員を、小数点以下２位まで記入する。

(AO) 左側車線数　注1)

道路ＢＯＸの起点から見て左側の車線数を記入する。

(AP) 中央帯（m）：◆　注2)

道路ＢＯＸの中央帯の幅員を、小数点以下２位まで記入する。

(AQ) 中央分離帯（m）：◆　注2)

道路ＢＯＸの中央帯分離帯の幅員を、小数点以下２位まで記入する。

(AR) 右側車線数　注1)

道路ＢＯＸの起点から見て右側の車線数を記入する。

(AS) 右側車道幅（m）　注1)

道路ＢＯＸの起点から見て右側の内空車道幅員を、小数点以下２位まで記入する。

(AT) 右側路肩幅（m）：◆

道路ＢＯＸの起点から見て右側の内空路肩幅を、小数点以下２位まで記入する。

(AU) 右側歩道幅（m）：◆

道路ＢＯＸの起点から見て右側の内空歩道幅員を、小数点以下２位まで記入する。

注１）上下線分離で１車線の場合
- (Z)上り・下り区分＝２(下り線)：(AN)左側車道幅、(AO)左側車線数にそれぞれの値を記入し、(AS)右側車道幅、(AR)右側車線数は‘0’を記入する。
- (Z)上り・下り区分＝１(上り線)：(AN)左側車道幅、(AO)左側車線数は‘0’を記入し、(AS)右側車道幅、(AR)右側車線数にはそれぞれの値を記入する。

注２）上下線分離の場合
- (AP)中央帯、(AQ)中央分離帯は‘0’を記入する。

(AV) 中央高（m）：◆

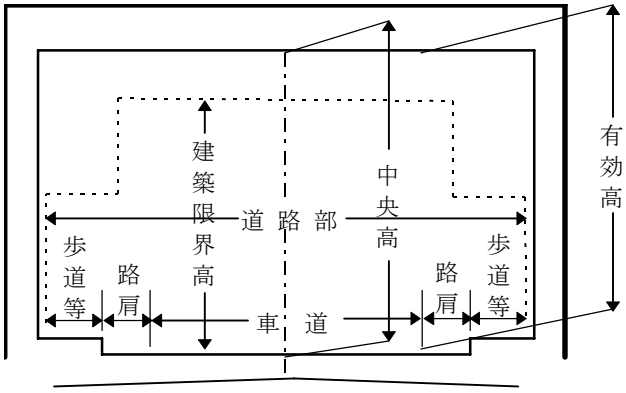
内空断面の中央高を、小数点以下２位まで記入する。なお、２断面以上の内空断面を有する道路ＢＯＸについては、代表的な断面で記入する。

(AW) 建築限界高（m）：◆

内空断面の建築限界高を、小数点以下２位まで記入する。なお、２断面以上の内空断面を有する道路ＢＯＸについては、代表的な断面で記入する。

(AX) 有効高（m）：◆

内空断面の有効高（車道端からの鉛直線が壁面または天井と交わる高さ）を、小数点以下２位まで記入する。なお、２断面以上の内空断面を有する道路ＢＯＸについては、代表的な断面で記入する。



(BA) 基礎種類Ｃ：◆

基礎種類について、該当するコードを記入する。なお、種類が複数ある場合は代表的なものを記入する。

区　　分	コード
直接基礎	１１
場所打ちぐい（深礎も含む）	１２
既製鋼ぐい	１３
既製ＲＣぐい	１４
既製ＰＣぐい	１５
木 ぐ い	１６
既製ＰＨＣぐい	１７
そ の 他	９９

(BC) 基礎本数（本）

道路ＢＯＸの基礎の杭本数を記入する。直接基礎は‘＊’を記入する。

(BD) 基礎杭径（m）

道路ＢＯＸの基礎の杭径を、小数点以下２位まで記入する。直接基礎は‘＊’を記入する。

(BE) 換気種別Ｃ：◆

道路ＢＯＸ内の自然換気・強制換気の別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
自　然　換　気	1
強制（機械）換気	2

(BG) 換気方式Ｃ：◆

強制（機械）換気の場合、換気方式について、該当するコードを記入する。自然換気は‘＊’を記入する。

区　　分	コード
縦流式（噴流式）	1
縦流式（立坑式）	2
縦流式（その他）	3
半横流式	4
横 流 式	5
そ の 他	9

(BI) 換気台数（台）：◆

強制（機械）換気の場合、換気機械の所要台数を記入する。自然換気は‘＊’を記入する。

(BJ) 排水種別Ｃ

道路ＢＯＸ内の排水種別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
自然排水	１１
Ｌ型側溝排水（自然）	１２
Ｕ型側溝排水（自然）	１３
Ｌ型＋暗渠排水（自然）	１４
Ｕ型＋暗渠排水（自然）	１５
強制（ポンプ）排水	１６
そ の 他	９９

(BL) 排水ポンプ台数

道路ＢＯＸ内に排水ポンプが設置されている場合、全台数を記入する。自然排水の場合は‘＊’を記入する。

(BM) 排水電源Ｃ

道路ＢＯＸ内の排水ポンプの電源について、該当するコードを記入する。自然排水の場合は‘＊’を記入する。

区　　分	コード
電　　力	1
自家発電	2
電力＋自家発電	3
そ の 他	9

(BO) 排水ピット大きさ（m^3）

道路ＢＯＸ内の排水ピット容量を記入する。自然排水の場合は‘＊’を記入する。

(BP) 排水施設管理者

道路ＢＯＸ内の排水施設の管理者名を、１５文字以内の日本語で記入する。

(BQ) 通学路指定有無Ｃ

通学路指定の有・無について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
無　し	1
有　り	2

(BS) 通学路指定年月日

通学路指定がある場合、指定になった年月日を記入する。（年は西暦年で記入）

通学路指定がない場合は‘＊’を記入する。

（記入例）　１９８４年　５月　５日　———＞　１９８４０５０５

(BT) 管理協定有無Ｃ

管理協定の有・無について、該当するコードを記入する。

(BQ) 通学路指定有無Ｃのコード表と同様。

(BV) 協定年月日

管理協定がある場合、管理協定がなされた年月日を記入する。（年は西暦年で記入）

管理協定がない場合は‘＊’を記入する。

（記入例）　１９８４年　３月１５日　———＞　１９８４０３１５

(BW) 協定先名

協定先名を１０文字以内の日本語で記入する。管理協定がない場合は‘＊’を記入する。

(BX) 現況Ｃ

道路ＢＯＸの現況について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
自動車通行不能	1
通行制限あり	2

(BZ) 通行制限内容

通行制限がある場合、その制限内容について２５文字以内の日本語で記入する。

通行制限がない場合は‘＊’を記入する。

(CA) 縦断勾配符号Ｃ

道路ＢＯＸ内の最急縦断勾配の符号コードについて、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
水　　平	0
上　　り	1
下　　り	2

注）

注）上りとは路線の起点側から終点側に向かって上っていることをいう。

(CC) 縦断勾配（%）

道路ＢＯＸ内の最急縦断勾配を、小数点以下１位まで記入する。なお、水平の場合０．０を記入する。

(CD) 直線区間長（m）

道路ＢＯＸ内の直線区間について延べ延長を、小数点以下１位まで記入する。

(CE) 曲線区間長（m）

道路ＢＯＸ内の曲線区間の延べ延長を、小数点以下１位まで記入する。なお、曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入する。曲線区間がない場合は‘＊’を記入する。

(CF) 始点側クロソイド（m）

道路ＢＯＸ内の区間にクロソイド曲線が含まれる場合、始点側のクロソイド曲線のパラメータA1を、小数点以下１位まで記入する。なお、曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入する。クロソイドがない場合は‘＊’を記入する。

(CG) 曲線半径（m）

道路ＢＯＸ内の区間に単曲線が含まれる場合、曲線半径（Ｒ）を、小数点以下１位まで記入する。なお、曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入する。曲線区間がない場合は‘＊’を記入する。

(CH) 終点側クロソイド（m）

道路ＢＯＸ内の区間にクロソイド曲線が含まれる場合、終点側のクロソイド曲線のパラメータA2を、小数点以下１位まで記入する。なお、曲線区間が複数個存在する場合には、最小曲線区間の部分について記入する。クロソイドがない場合は‘＊’を記入する。

(CI) 舗装種別Ｃ

道路ＢＯＸ内の舗装種別について、該当するコードを記入する。なお、歩道と車道が併設されている場合は、車道部について記入。

区　　分	コード	区　　分	コード
未　舗　装	1	インターロッキング系	6
コンクリート系	2	透水性As系	7
アスファルト系	3	排水性As系	8
平板ブロック系	4	そ　の　他	9
Ａsブロック系	5		

(CK) 舗装厚（cm）

道路ＢＯＸ内の舗装厚（表層）を記入する。

(CL) 舗装面積（㎡）

道路ＢＯＸ内の舗装面積を記入する。

(CM) 照明有無Ｃ

道路ＢＯＸ内の照明の有無について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード
無　し	0
有　り	1

(CR) ロードヒート有無Ｃ

道路ＢＯＸ内及び出入口に設置されているロードヒーティングの有無について、該当するコードを記入する。

(CM) 照明有無Ｃのコード表と同様。

(CW) 備考１

特記事項があれば５０文字以内の日本語で記入する。

(CX) 備考２

特記事項があれば５０文字以内の日本語で記入する。

(CY) 備考３

特記事項があれば５０文字以内の日本語で記入する。

(CZ) 市区町村自Ｃ：◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例）　茨城県鹿島郡旭村の場合　　―――＞　　コード：０８４０１
（検査数字は含まない）

(DB) 市区町村至Ｃ

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

（記入例）　茨城県鹿島郡大洋村の場合　　―――＞　　コード：０８４０３
（検査数字は含まない）

〔Ｄ０８２〕 道 路 Ｂ Ｏ Ｘ 補 修 歴

この調査表は、道路ＢＯＸ等の補修履歴等に関するデータを登録するためのものである。

１．一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

○ 「D080道路ＢＯＸ基本」の作成単位毎とする。

○ 補修が行われた毎とする。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｇ－１）現旧区分

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｇ－１）、（Ｈ）、（Ｉ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

（Ｐ）補修年月

補修を行った年月を記入する。（年は西暦年で記入）

（記入例） １９８５年 ５月 ―――> １９８５０５

（Ｑ）補修内容Ｃ

補修内容について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード
舗装		照明設備　取替え	６０１
全面打ち替え	１０１	部分修復	６０２
〃 オーバーレイ	１０２	その他	６９０
部分打ち替え	１０３	排水設備　取替え	７０１
〃 オーバーレイ	１０４	部分修復	７０２
その他	１９０	その他	７９０
内壁の修複	２０１	ロードヒーティング	
その他	２９０	取替え	８０１
漏水防止	３０１	部分修復	８０２
その他	３９０	その他	８９０
本体の補強	４０１	その他	９９０
その他	４９０		
換気設備　取替え	５０１		
部分修復	５０２		
その他	５９０		

（Ｓ）備考

損傷原因等について５０文字以内の日本語で記入する。

〔Ｄ０８３〕 道 路 Ｂ Ｏ Ｘ 占 用 物

この調査表は、道路ＢＯＸ等内の占用物件に関するデータを登録するためのものである。

１．一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

○　「D080道路ＢＯＸ基本」の作成単位毎とする。

○　占用物件毎とする。

２．記入事項

（１）工事番号

（２）工事区分Ｃ

（３）施設対応番号

（Ｃ）地整Ｃ

（Ｄ）事務所Ｃ

（Ｅ）出張所Ｃ

（Ｆ）路線

（Ｇ）現旧区分Ｃ

（Ｇ－１）現旧区分

（Ｈ）整理番号１

（Ｉ）整理番号２

上記（１）、（２）、（３）、（Ｃ）、（Ｄ）、（Ｅ）、（Ｆ）、（Ｇ）、（Ｇ－１）、（Ｈ）、（Ｉ）の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1.共通注意事項」を参照のこと。

（Ｐ）占用物件種別Ｃ

占用物件種別について、該当するコードを記入する。

区　　分	コード	区　　分	コード
上　水　道	１１	ガ　　ス	１７
工業用水道	１２	道路情報板	１８
農業用水	１３	道路標識	１９

区　　分	コード	区　　分	コード
下　水　道	１４	通信ケーブル等	５３
電　　力	１５	Ｉ・Ｔ・Ｖ	５４
電　　話	１６	そ　の　他	９９

（R）寸法

・　電力及び電話については、条数と段数を記入する。

・　道路情報板・道路標識及びＩＴＶの場合は‘＊’を記入する。

・　これら以外については公称径（φ）をmm単位で記入する。

（記入例－１）　「上水道　φ200 」の場合　―――＞　２００

（記入例－２）　「電力　３条５段」の場合　―――＞　０３０５

（S）管理者名

占用物件の管理者名を、１０文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D080：道路ＢＯＸ等（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分Ｃ	半角1文字		○	○
整理番号１	半角8文字		○	○
整理番号２	半角4文字		○	○
整理番号３	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
名称	全角10文字		○	○
百米標自	999.9	ｋｍ	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	ｋｍ	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦	○	○
完成年月	199901	西暦	○	○
上り下り区分Ｃ	半角1文字		○	○
所在地自	全角30文字			○
所在地至	全角30文字			○
構造形式種別Ｃ	半角1文字		○	○
工場製品場所打別Ｃ	半角1文字			○
延長	99999.9	m	○	○
道路部	99999.99	m	○	○
内空車道幅	99.99	m	○	○
内空歩道等幅	99.99	m		○
左側歩道幅	99.99	m	○	○
左側路肩幅	99.99	m	○	○
左側車道幅	99.99	m		○
左側車線数	9			○
中央帯	99.99	m	○	○
中央分離帯	99.99	m	○	○
右側車線数	9			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D080：道路ＢＯＸ等（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
右側車道幅	99.99	m		○
右側路肩幅	99.99	m	○	○
右側歩道幅	99.99	m	○	○
中央高	99.99	m	○	○
建築限界高	99.99	m	○	○
有効高	99.99	m	○	○
基礎種類Ｃ	半角2文字		○	○
基礎本数	999	本		○
基礎杭径	9.99	m		○
換気種別Ｃ	半角1文字		○	○
換気方式Ｃ	半角1文字		○	○
換気台数	99	台	○	○
排水種別Ｃ	半角2文字			○
排水ポンプ台数	99			○
排水電源Ｃ	半角1文字			○
排水ピット大きさ	999	ｍ３		○
排水施設管理者	全角15文字			○
通学路指定有無Ｃ	半角1文字			○
通学路指定年月日	19990101	西暦		○
管理協定有無Ｃ	半角1文字			○
協定年月日	19990101	西暦		○
協定先名	全角10文字			○
現況Ｃ	半角1文字			○
通行制限内容	全角25文字			○
縦断勾配符号Ｃ	半角1文字			○
縦断勾配	99.9	%		○
直線区間長	9999.9	m		○
曲線区間長	9999.9	m		○
始点側クロソイド	99999.9	m		○
曲線半径	99999.9	m		○
終点側クロソイド	99999.9	m		○
舗装種別Ｃ	半角1文字			○
舗装厚	99	ｃｍ		○
舗装面積	999999	ｍ２		○
照明有無Ｃ	半角1文字			○
ロードヒート有無Ｃ	半角1文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D080：道路ＢＯＸ等（基本諸元）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
備考１	全角50文字			○
備考２	全角50文字			○
備考３	全角50文字			○
市区町村自Ｃ	半角5文字		○	○
市区町村至Ｃ	半角5文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D082：道路ＢＯＸ等（補修歴）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号１	半角8文字			○
整理番号２	半角4文字			○
補修年月	199901	西暦		○
補修内容Ｃ	半角3文字			○
備考	全角50文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

D083：道路ＢＯＸ（占用物）

項目名	入力書式		CSV作成対象	
			全国版	中国版
	データ表現	単位	SYOGEN	SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分Ｃ	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整Ｃ	半角2文字			○
事務所Ｃ	半角2文字			○
出張所Ｃ	半角2文字			○
路線	9999			○
現旧区分Ｃ	半角1文字			○
現旧区分	全角2文字			○
整理番号１	半角8文字			○
整理番号２	半角4文字			○
占用物件種別Ｃ	半角2文字			○
寸法	9999			○
管理者名	全角10文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照